

# ZEPHYROS

ゼフュロス No.64

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

2015年8月20日発行

ISSN1342-8071



## 黄金伝説展

古代地中海世界の秘宝

会期：2015年10月16日（金）～2016年1月11日（月・祝） 企画展示室

## 企画展「黄金伝説展 古代地中海世界の秘宝」



《ヴァルチトラン遺宝》紀元前 14 世紀後半-紀元前 13 世紀初頭 金  
ブルガリア、ヴァルチトラン出土 ソフィア国立考古学研究所・博物館  
Photograph: National Institute of Archaeology with Museum - Sofia, Bulgaria



《腕輪》  
紀元前 675-650年 金 直径10cm  
イタリア、チェルヴェテリ、ソルボ墓地、  
レゴリーニ・ガラッシの墓出土  
ヴァチカン美術館 foto@musei vaticani

今から90年ほど前の凍てつくような冬のあ  
る日、ブルガリア北部の小さな村で畑仕事  
をしていた兄弟が、たまたま、杯などの金属器  
一式を掘り出しました。真ちゅうのガラクタだ  
と踏んだ兄弟はそれらをポイと放り捨てまし  
たが、一番大きな容器だけ持ち帰り、豚のエ  
サ皿として使うことにしました。腹へこの豚は  
エサに食らいつき、隅から隅まで容器をペロ  
ペロとなめ回します。そして空っぽの容器を  
見た兄弟はびっくり仰天。彼らの目の前に、  
ピカピカの金の器が現れたのです。この金器  
一揃いが、ブルガリアが世界に誇る名宝《ヴ  
ァルチトラン遺宝》です。13点の金器で構成さ  
れる《ヴァルチトラン遺宝》には、総重量  
12kg以上にもなる金が用いられています。こ  
の桁はずれな秘宝をすべて、本展でご覧に  
入れます。

今日に伝わる古代の金製品の多くは、《ヴ  
ァルチトラン遺宝》の場合とはことなり、墓に

納められた副葬品でしたが、金の副葬品と  
いうものはひとつの宿命を負っています。そ  
れは盗掘の被害です。とりわけ、人目に付く  
大きな墓地や丘のような墳墓では、その危  
険性が高まります。古代ローマ帝国が栄える  
以前、イタリア半島で勢力をふるっていたエ  
トルリア人は、死後の世界を深く信じていた  
ため、ネクロポリスと呼ばれる広大な墓地を  
築き、墓を豪勢な品々で満たしました。こう  
した副葬品の中でもひととき目立ったのは、  
精緻を極めた金細工です。ずば抜けた金の  
加工技術を持ち、死後の世界への投資を惜  
しまなかったエトルリア人だからこそ、彼ら  
の墓は大昔から泥棒たちの格好の餌食とな  
りました。しかし、巨大な墳墓に納められた  
にもかかわらず、2500年以上ものあいだ身を  
潜め、難を逃れた宝物があります。それが  
ヴァチカン美術館より出品される金の腕輪と  
杯です。この金製品は『レゴリーニ・ガラ



《ヴァルナ銅石器時代墓地第43号墓》  
紀元前5千年紀 フルガリア、ヴァルナ出土 ヴァルナ歴史博物館  
©Varna Regional Museum of History, Bulgaria

シの墓』と呼ばれる墓の副葬品で、腕輪は埋葬された女性を飾っていました。この腕輪で、極小の金の粒を用いた粒金細工と呼ばれるエトルリア人の至芸を、ぜひご堪能ください。

大きな墓地でも、時がたつにつれ、まったく目立たなくなる場合もあります。黒海沿岸の町ヴァルナでは、40年ほど前に数百もの墓が工事現場で発見され、センセーションを巻き起こしました。なぜなら、出土した副葬品は6000年以上前の世界最古の金製品だったからです。黒海の金といえば、古代ギリシャの英雄イアソンの金の羊毛伝説が思い浮かびます。本展では、ヴァルナの最古の金製品とイアソンの神話を描いたモローの名画を比較展示するほか、金にまつわる神話を主題とする絵画を織り交ぜつつ、黄金製品の傑作の数々を披露いたします。

(国立西洋美術館研究員 飯塚 隆)



《首飾り》  
紀元前2世紀 金、鉄ばんざくろ石 長さ31cm  
フオルツハイム宝飾品博物館  
© Schmuckmuseum Pforzheim / Pforzheim's Jewellery Museum, Germany, photo by Petra Jaschke

表紙  
《首飾り》  
紀元前4世紀 金、練りガラス 長さ27.8cm イタリア、オルヴィエート出土 ヴィラ・ジュリア国立考古学博物館（ローマ）  
© su concessione della Soprintendenza Archeologia del Lazio e dell' Etruria Meridionale

**黄金伝説展 古代地中海世界の秘宝**

一般 1,600円 (1,400円)  
大学生 1,200円 (1,000円)  
高校生 800円 (600円)

\* 中学生以下、心身に障害のある方および付添者1名は無料 (入館の際に学生証・障害者手帳をご提示ください。)

\* ( ) 内は20名以上の団体料金

\* 本展の観覧券で常設展示も併せてご覧いただけます。

会期：2015年7月14日（火）～10月4日（日） 新館2階 版画素描展示室

## 小企画展「没後50年 ル・コルビュジエ — 女性と海 大成建設コレクションより」



ル・コルビュジエ  
《二人の浴女と平底漁船》  
1937年 油彩／カンヴァス  
大成建設ギャラリー・タイセイ  
© FLC/ADAGP, Paris & JASPAR,  
Tokyo, 2015  
E1748

国立西洋美術館の本館を設計したル・コルビュジエ（1887-1965）が地中海沿岸の町ロクブリュヌ＝カップ＝マルタンで世を去って、今年で50年になります。パリのボンビドゥー・センターでの大規模な回顧展をはじめ、彼の没後50年を記念するイベントが世界各地で開かれています。当館では、ル・コルビュジエに関する世界有数のコレクションをもつ大成建設株式会社の協力を得て、「女性」と「海」を題材とする絵画、素描等による小企画展を開催します。

ル・コルビュジエは第一次大戦後のパリで、数学的法則性に重きをおく「ピュリスム」（純粋主義）の画家・建築家として頭角を現しました。しかし、1920年代後半から、彼の絵画作品には大きな変化が表れます。フランス大西洋岸のアルカションでたびたび夏を過ごした彼は、浜辺で石や貝殻、木の根などを拾い、その有機的な形を絵画に取り入れました。さらに、豊かな肉体をもつ女性像が主要な題材のひとつになり、それはやがて海のテーマと一体化して、自然の豊かな生命力を讃

えるイメージへと発展しました。ピュリスム時代の主張とは相反する方向を追求したこれらの絵画作品には、第二次大戦後に建築、都市計画、絵画、彫刻など多方面において実を結んだル・コルビュジエの創造意欲の種が宿されているとも言えるでしょう。

本展では、1920年代末から1950年代にいたる絵画、素描作品などのほか、ル・コルビュジエ財団（パリ）の編集による映像資料「1930年代のル・コルビュジエ」をご紹介します。この資料には、ル・コルビュジエ自身が自宅や旅先で撮影した映像が収められており、「女性」と「海」に対する彼の愛着をうかがうことができます。

（国立西洋美術館副館長 村上 博哉）

**常設展**（本展は常設展料金でご覧いただけます）

一般 430円（220円）

大学生 130円（70円）

\*小・中学生・高校生および18歳未満、65歳以上、心身に障害のある方および付添者1名は無料  
（入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。）

\*（ ）内は20名以上の団体料金

## 絵画の裏側



図1 クロード・モネ《雪のアルジャントウイユ》(1875年)のキャンバス裏



図2 ダニエル・セーヘルス、コルネリス・スフート《花環の中の聖母子》(17世紀前半)の板裏に押された焼印

美術館の壁に整然とならぶ絵画。その裏側まで想像しながら鑑賞する方はめったにいないのではないのでしょうか。見せることが禁じられているわけではないけれど、ほとんどの場合、裏側は「作品」として鑑賞されることを想定されていません。そこに別の「作品」(画家が却下したものなどとしても図像が描かれていることなど)がないかぎり、展示されるのは絵の描かれた表側のみ。ですが学芸員にとって絵の裏側は気になるところ。運よく作品の歴史を知る手がかりが得られることもあるからです。

絵の裏側は、支持体(キャンバスとそれを支える木枠、ほかに板や厚紙など)の裏面と、額裏に分けられます。ここには複数の文字データが蓄積されていることも。当館の場合、よく見かけるのは作品を売買した画商や出品された展覧会を示すラベルや書き込み(図1)。これらは来歴や展覧会出品歴の重要な「物証」です。ほかにも額屋や修復家、輸送業者のラベルが貼られていることもあり、さなが

ら旅行上級者のトランクのようです。さらに珍しいことですが、画家自身による、あるいは作品の贈り主による献辞が記されていることもあれば、板絵の裏に画家組合によって品質保証の焼印が押されていることもあります(図2)。

ただし、額裏にある情報は鵜呑みにできません。絵の装飾と保護が目的の額縁は、代替可能なものと考えられてきたので、現在の額縁が作品の制作当時に取付けられたオリジナルとは限らないためです。また、元来ほかの作品に使われていた額が、そのままあるいは寸法を直されて再利用されるケースもあるので注意が必要です。

このように、作品の裏側は一種のアーカイヴのような空間。私たち学芸員は、そこから作品の辿ってきた道のりを遡ろうと、表側を観るときと少し違った眼差して裏側を注視します。時折、意外な痕跡を見つけてひそやかに歓喜し、それをこつこつと作品情報に反映しています。

(国立西洋美術館研究員 袴田 絃代)

# EVENT イベント

## 黄金伝説展 古代地中海世界の秘宝

展覧会に関連して次のプログラムを実施いたします。ぜひご参加ください。

### ● 講演会

日時：10月24日(土)  
14:00～15:30

金原 保夫(東海大学教授)  
「古代トラキアの黄金文化」

日時：11月14日(土)  
14:00～15:30

藤沢 桜子(群馬県立女子大学教授)  
「エトルリア・古代ローマの金製品」

日時：11月21日(土)  
14:00～15:30  
逸身 喜一郎(東京大学名誉教授)  
「ギリシャ文学・神話における  
黄金というモチーフ」

日時：12月19日(土)  
14:00～15:30  
飯塚 隆(国立西洋美術館研究員)  
「古代ギリシャ美術と黄金」

会場：国立西洋美術館講堂(地下2階)  
定員：各回先着140名(聴講無料。ただし、聴講券と本展の観覧券が必要です)  
参加方法：当日12:00より、館内インフォメーションにて、本展の観覧券をお持ちの方お一人につき一枚聴講券を配付します。会場へは開演の30分前からご入場いただけます(自由席)。

### ● スライド・トーク

展覧会のみどころや主な作品について、スライドを使って解説します。

日時：10月23日(金)、11月13日(金)、12月4日(金)、12月18日(金)  
各回18:00～(約30分)

会場：国立西洋美術館講堂(地下2階)  
解説者：飯塚 隆(国立西洋美術館研究員)  
定員：各回先着140名(聴講無料。ただし、本展の観覧券が必要です)  
※直接講堂にお越しください(開場時間は各日とも開演の30分前)。

※講演会、スライド・トークのタイトル・内容等は変更となる場合があります。  
最新の情報は国立西洋美術館ホームページまたはハローダイヤル(03-5777-8600)でご確認ください。

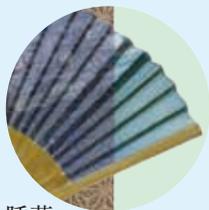
# Museum shop

ミュージアム  
ショップ

おすすめ商品

●扇子 (絹100%)

睡蓮・ばら 各4,110円 (税込み)



睡蓮



ばら



透け感が美しい、涼しげなシルク素材と竹で作られた上品な扇子はショップの隠れたロングセラー商品。海外からのお客様にもご好評をいただいています。

## Café カフェすいれん



「黄金伝説展 古代地中海世界の秘宝」  
特別メニュー

期間 2015年10月16日(金)～  
2016年1月11日(月・祝)

●魚介のマリネ 864円 (税込み)

イカ、エビ、イイダコの魚介と玉ねぎをトマト味でマリネし、九条ネギを散らしたさっぱりとした一品。白ワインと合わせてどうぞ。

※2015年10月16日から2016年1月11日(予定)まで一部変更となるメニューがあります。

チケット売場、館内施設(常設ミュージアムショップ、カフェすいれん)でSuica、各種クレジットカードがご利用いただけます。(ただし、一部除外品がございます。)詳細については、当館ホームページをご覧ください。

# 展示カレンダー [企画展示/常設展示] 2015年8月～2016年1月

		休館日 土・祝日																													
AUG 8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
	ボルドー展 —美と陶酔の都へ— 6月23日(火)～9月23日(水・祝) (企画展示室) 没後50年 ル・コルビュジエ —女性と海 大成建設コレクションより 7月14日(火)～10月4日(日) (新館2階 版画素描展示室)																														
SEP 9	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
	ボルドー展 —美と陶酔の都へ— 6月23日(火)～9月23日(水・祝) (企画展示室) 没後50年 ル・コルビュジエ —女性と海 大成建設コレクションより 7月14日(火)～10月4日(日) (新館2階 版画素描展示室)																														
OCT 10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	没後50年 ル・コルビュジエ —女性と海 大成建設コレクションより 7月14日(火)～10月4日(日) (新館2階 版画素描展示室) 全館休館 10月5日(月)～10月9日(金) 黄金伝説展 古代地中海世界の秘宝 10月16日(金)～2016年1月11日(月・祝) (企画展示室) 常設展一部(本館)閉室 10月10日(土)～2016年1月11日(月・祝)																														
NOV 11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
	黄金伝説展 古代地中海世界の秘宝 10月16日(金)～2016年1月11日(月・祝) (企画展示室) 常設展一部(本館)閉室 10月10日(土)～2016年1月11日(月・祝)																														
DEC 12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
	黄金伝説展 古代地中海世界の秘宝 10月16日(金)～2016年1月11日(月・祝) (企画展示室) 年末年始休館 12月28日(月)～1月1日(金・祝) 常設展一部(本館)閉室 10月10日(土)～2016年1月11日(月・祝)																														
JAN 1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	黄金伝説展 古代地中海世界の秘宝 10月16日(金)～2016年1月11日(月・祝) (企画展示室) 常設展一部(本館)閉室 10月10日(土)～2016年1月11日(月・祝) 全館休館 1月12日(火)～2月29日(月)																														

## ●臨時開館・臨時休館・一部閉室のお知らせ

- \* 8月10日(月)、10月13日(火)、11月2日(月)、2016年1月4日(月)は開館します。
- \* 10月5日(月)～10月9日(金)は館内整備のため全館休館します。
- \* 10月15日(木)は展覧会準備のため、全館休館します。
- \* 10月10日(土)～2016年1月11日(月・祝)は施設整備のため本館展示室を閉室します。
- \* 2016年1月12日(火)～2月29日(月)は館内整備のため全館休館します。

## ●常設展示

ロダンやブールデルの彫刻と中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画、モネ、ルノワールなどのフランス近代絵画と20世紀初頭までの絵画を展示しています。  
(展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。)

\*展覧会名、会期、展示内容等は変更されることがあります。

\*作品の保存・貸し出し等の状況により、掲載された作品をご覧いただけない場合がございます。

## 国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…午前9時30分～午後5時30分  
毎週金曜日…午前9時30分～午後8時  
\*入館は閉館の30分前まで
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)  
\*その他、臨時に休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600  
<http://www.nmwa.go.jp/>

\*誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフュロス)はギリシャ神話の神々のひとりで、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさと色ざまだまの花々を運び春の風をさします。

# ZEPHYROS

ZEPHYROS 第64号

編集・発行 国立西洋美術館/2015年8月20日(年4回発行)  
協力 公益財団法人 西洋美術振興財団  
印刷 (株)アイネット